

# 個人健診用 オプション検査一覧

検査項目	検査対象	料金
血液検査  オススメ お得な セット	肺がん (CEA CYFRA ProGRP)	5,550円
	肝臓がん (AFP PIVKA-2)	2,980円
	膵臓、胆道がん (CA19-9 DUPAN-2)	2,670円
	前立腺がん (PSA)	2,050円
	卵巣、子宮がん (CA125 SCC)	2,670円
	消化器系セットマーカー (大腸・胃・胆道・膵臓・肝臓) (CEA AFP CA19-9)	3,600円
	★ 男性セットマーカーA (大腸・肺・胃・膵臓・胆道・肝臓・前立腺) (CEA AFP CA19-9 CYFRA PSA)	7,300円
	★ 男性セットマーカーB (男性セットマーカーA+食道) (CEA AFP CA19-9 CYFRA PSA p53抗体)	9,250円
	★ 女性セットマーカーA (大腸・肺・胃・膵臓・胆道・肝臓・卵巣子宮) (CEA AFP CA19-9 CYFRA CA125)	7,300円
	★ 女性セットマーカーB (女性セットマーカーA+食道) (CEA AFP CA19-9 CYFRA CA125 p53抗体)	9,250円
心臓病検査	慢性心不全バイオマーカー (NT-ProBNP)	2,160円
肝炎ウィルス検査	B + C型肝炎 (HBs抗原・HBs抗体・HCV抗体)	2,580円
	B型肝炎 (HBs抗原・HBs抗体)	1,480円
	C型肝炎 (HCV抗体)	2,020円
ペプシノーゲン		2,050円
ヘリコバクターピロリ抗体検査		1,540円
胃がんリスク層別化検査 (ABC 分類)	★詳細は裏面を参照	4,320円
甲状腺機能検査		2,460円

超音波検査	骨密度検査	1,020円
-------	-------	--------

要予約 TEL (0144)35-0080

大腸がん検査	便潜血検査 (2日法)	2,010円
婦人科検診 ★水曜日 (AM 健康診断 / PM 婦人科) の実施となります。 ご希望の方は事前にお電話下さい。	乳がん検診 (マンモグラフィ 2方向)	6,780円
	乳がん検診 (超音波)	5,550円
	子宮がん検診 (内診+頸部細胞診)	2,560円

# 各オプション検査内容

## ◆腫瘍マーカー (がん反応)

腫瘍マーカーとは悪性腫瘍の際に上昇する血液中の成分で腫瘍の存在、種類、進行度の推定に役立ちますが、正常組織でも作られており、癌に特異的とは限りません。陽性＝がん ということでも無く、陰性＝がんで無いとも言えるものではありません。陽性であれば癌の疑いが有るので、「二次検査を受けた方が良い」と理解して下さい。

腫瘍マーカー	検査内容
CEA	消化器系の腫瘍を中心に用いられるが、広範囲の癌で上昇。大腸癌、肺癌、胃癌、胆道癌等で有用。常習喫煙者でも上昇。
AFP	肝細胞癌に特異性が高い。ウイルス肝炎、肝硬変でも陽性となるが、悪性化の経過観察に有用。妊娠後期でも上昇。
CA19-9	膵臓癌に特異性が高いが胆道癌にも有用。膵炎、胆石、卵巣のう腫等の良性疾患でも上昇。
DUPAN-2	膵癌、肝胆道癌に有用。肝臓、膵臓等の良性肝疾患でも上昇。
CYFRA	肺癌 特に扁平上皮癌で上昇。良性の呼吸器疾患でも上昇。
PIVKA- II	肝細胞癌で上昇するが、AFP とは関連しない。AFP より感度は低いの特異性は高い。薬剤（ワーファリン）使用時に上昇。
ProGRP	肺癌（小細胞癌）に有用。CEA、CYFRA と併せて肺癌のふり分けをするマーカーとして利用される。腎不全でも上昇。
PSA	臓器特異性が高く前立腺癌の早期発見に有用。前立腺肥大でも上昇。
CA125	卵巣癌、子宮体部癌に有用。子宮内膜症、卵巣のう腫等の良性疾患や妊娠でも上昇。
SCC	子宮頸癌のほか肺癌（扁平上皮癌）、食道癌に有用。
p53 抗体	主に癌細胞で起こっている癌抑制遺伝子（p53）の異常に対して作られる抗体。食道癌、大腸癌、乳癌等で上昇。臓器特異性は低い。

## ◆NT-proBNP 検査 (慢性心不全の バイオマーカー)

心臓の筋肉の伸展刺激や内圧上昇といった心臓に負担がかかっている時に分泌されるホルモンです。疲れやすい、動悸、息切れ、むくみといった症状のある方や虚血性心疾患、弁膜症、心筋症、不整脈のほか、高血圧、糖尿病等による”隠れ心不全”の発見に有用なバイオマーカーです。

## ◆ペプシノーゲン

胃粘膜の萎縮の程度、胃酸分泌機能や胃粘膜の炎症の程度を調べます。

## ◆胃がんリスク層別化検査 (ABC 分類)

ピロリ菌感染の有無を調べる「ヘリコバクター・ピロリ抗体検査」と胃炎の有無を調べる「ペプシノーゲン検査」を組み合わせる「胃潰瘍や胃がん等の胃の病気の危険度を A 群＝低リスク群（感染なし、胃炎なし） B 群＝中リスク群（感染あり、胃炎なし） C 群＝高リスク群（感染あり、胃炎あり） E 群＝除菌群（ピロリ菌の除菌治療を受けた方）に分類するものです。



一般財団法人

苫小牧保健センター